

# 「闇から光へ」

～闇の情報に流されるな！！～

ヨハネ 1:1 ~ 12 伝 2:17 ~ 26

今年のあなたのテーマは何でしたか？皆さんは日々どんな事を考えて生きていますか？私達は直ぐに忘れてしましますが、覚えておかなければならない事があります。動物は生きるために起こったマイナスの経験を覚えていて次に生かしますが、人間は嫌だった事に蓋をして、どうしてそうなったのかを考えず、そうさせられた事を記憶しています。あなたは過去のマイナスを人のせいにしていませんか？

## ■ 人間の無知と人生の決断

ヨハネ 1:1 ~ 1:12 は人間の無知について示しています。彫刻家に作られた人形達が作り主を忘れてお互いを比較して優劣をつけ、誰が一番なのか探している「大切な君」というアニメがあります。私達も小さな頃から競争をしています。作った作品の優劣を競うコンテストがありますが、作品というものは製品と違い規格がなく、同じものは作れません。作り手が込めた思いを聞くと、それぞれの個性があり優劣がつけられるものでもなく、个性的で整っていないから良いという面もあります。人生についてどう決断するかが大切ですが、私達はいつも考え方を間違えてしまいます。

人と比較し人の言葉を気にしていると外敵が来ると右往左往して大切なものが無防備になり宝物を失ってしまいます。人の言葉に心が向くのは恐ろしい事です。目の前に置かれている問題に意味のないものではなく、冷静に見る事が出来れば一番良い方法で解決が与えられます。神様は願ったよりも良い方法で解決してくれます。イエス様はその私達の心を映すように不衛生な馬小屋で闇の中で生まれたのです。

## ■ 闇の情報

人と比較し人の言葉を気にして闇の情報に流されていませんか？以前は私も問題が起きた時にその問題と向き合えずに間違った決断をする弱さがありました。人に仕返しをして相手を追い詰める事が好きな者でしたが、神様は私の問題点を示してくれ今は問題が起きた時にその色々な事が全て自分の為だった事がわかるようになりました。神様がいるのだらどうしてこんな世の中にするのかと思っている人はいませんか？問題が起きると感情的になりイライラして相手を責めて、その事で自分が傷つき、言った後で後悔するけど、謝れないという所はないですか？この世にあってクリスチャンは艱難に会います。でも「勇敢であれ私は世に勝った」とイエス様は言われています。神様は勝っているのです、私達は全てを乗り越える事が出来るのです。問題にのめられない事が大切です。今の私たちの時代、政治の問題についても考える必要があります。闇の情報に振り回されていませんか？ヒットラーは「間違った事も千回言えば正しい事になる」と言いました。闇の情報とは、私達を恐れさせこのまま行くと大変な事になると支配してきます。人は二つの物は受け取れないので、良い情報と悪い情報が同時にあって大きな声になびいてしまいます。デマゴークは私たちの耳にはたくさんありますが、デマを信じず、沢山の情報の中から何を学ぶか、教えの風に吹きまわされない事が大切です。多くの人は自分にとって正しいと思う事しか聞きません。でも、私達は全ての情報を聞いた中で聖書の中から判断していく必要があります。本当の事は隠して正しくない事をやり遂げようとする力=この世の悪の力、政治的手法についても祈らなければいけません。

## ■ 永遠の絶望に光が与えられる

伝道者の書 2:17 ~ 2:26 にソロモンの悲しさ、絶望が書かれています。絶望とは絶望しそうなのではなく、字のごとくもう終わっている事です。これをしないといけません。絶望が起きないと慰めが起きないし、慰めが起きないと喜びが起きません。イエス様が生まれた意味は絶望している心に光を与える為です。イエス様が生まれた当時のヨーロッパは真つ暗です。人々は暗い世の中でメシアを待ち望みながらも、人間の価値観や力や教えで世の中を変えようとしていました。「世はこの方によって造られたが、この世はこの方知らなかった(ヨハネ 1:10)」ので、イエス様は人となって来られたのです。それも人々から見下げられていた羊飼いを招いて私が光であると伝えたのです。光がさすと障害物で影はできますが、どんな深い闇も光

に打ち勝つ事は出来ません。影は私たちの罪です。その罪である影を取る為にイエス様は来られたのです。私もイエス様に出会ってからも暫くは、有限の絶望状態で、失敗しない様に、後ろ指をさされない様に自分を着飾って生きていました。でも、自分には出来ないという無限の絶望状態になって、もうあなたに任せますと永遠に自分でやるのを辞めた時から幸せに生きられるようになりました。

## ■ ①あなたに慰めを

悩み落ち込んでいるなら神様の前に慰めをもらって下さい。「神様私は辛かった」と言うだけです。それがクリスマスです。神様に委ねると慰められて元に戻るのです。慰めを受ける為に教会に来て下さい。クリスチャンとして立派な姿を人に見せる為に来るのではなく、あなたの痛み問題を置くために来るのです。痛みを置けば元気になる、本来の姿で輝く事が出来、そして外に出て行き、又痛み疲れたら慰めを受けに教会に来るのです。

## ■ ②道の光に

教会に来るとイエス様に出会うと生き方が変わります。光によって歩く道が見えるようになり、ゴールが見えるようになるからです。歩くのは一緒ですが、ゴールが見えるかどうかの違いは大きいです。暗闇だと何が起きたのかわからないですが、光によって原因がわかると闘い方がわかるようになり悩みも明確になります。悩むし痛い思いもしますが、なぜその問題が起きたのかわかるようになります。でも、悩みに捕らわれたり、人との比較をすると簡単に消灯してしまい、又道が分からなくなってしまうので注意が必要です。暗闇になるとその時しかわからないから他の人の良い時しか見えず、他の人がつまずいて倒れていてもわからず、自分がつまずいた時に他の人を見て腹が立ってしまうのです。どうか、何事も思い煩わずに神様からの慰めを受けて下さい。

## ■ ③想像(創造)の力

道がわかり、過去の道も照らされると本当の反省が出来ます。これが素晴らしいのです。でも大人の謝罪は表面上の事が多く、これが私達をダメにします。本当の反省をすると、二度と大切なものを失わない様に守れるようになります。過去に捕らわれ自分を責めるのではなく、人生の中でもし、責められる挫折があるならその傷も痛みも神様は取り除かれるので、自分の過去をしっかりと見て、過去を忘れず、今度の道にその反省を生かして創造して下さい。創造とは過去通った過ちが基で出来る事で料理も絵も運転もそうです。イエス様はあなたの過去の痛みも傷も全て背負うからもう同じ過ちを繰り返さずと言われているのです。良い作品を作る為の完成する為の反省です。備前焼の様に一つの作品を作る事は反省の連続で、これが創造の力になります。そして二度と同じ過ちは繰り返さないという決心をする日がクリスマスです。年に一度来年を迎える為に自分を反省し、この一年間自分の間違った行為で、良くない作品が出来たなら、来年は同じ事をしてはいけないのです。同じ方法を繰り返せばあなたもあなたの周りの人も痛んでしまいます。自分を責めないで下さい。何度でも神様に許された者としてやり直す事ができます。今度の道に反省を生かして同じ過ちを繰り返さずに歩む事が出来たら、あなたが想像したより素晴らしくなるのです。与えられた人生の中で作品を仕上げてください。

## ■ 神と共に生きる素晴らしさ

デビットコールマンという 10 代の少年が脳腫瘍にかかり、余命わずかだと宣告されましたが、彼のもう一度クリスマスを祝いたいという願いを叶えようと町全体が一つになりました。バラバラだった町が一人の少年の命によって変えられたのです。神様と生きるとはこういう事です。皆さん、あなたの力が愚かだと思わないで下さい。社会の常識での幸せ(長寿、結婚等)だけが幸せではない事があるのです。神様はなぜ変えてくれないの？という祈りから、私を変えて下さい、私を用いて下さいと祈っていきましょう。

(要約者:日名 陽子)